木造不動明王立像

昭和 46 年 3 月 16 日　八潮市指定有形文化財（彫刻）
●八潮市大字八條 1763 番地（清勝院）

清勝院本尊の不動明王像は、彫刻した部分材を組みあわせてつくる寄木造りの立像であり、金切金が施された藤原期の作である。埼玉県東部地域では最古の不動明王像と言われている。仏像は岩座に立ち高さ 91 センチあり、右手には煩悩や邪悪なものを打ち破るとされる利剣をもち、左手には衆生救済の羂索をもっている。

現在の頭部は後補のものであるが、元の頭部は資料館で展示されている。

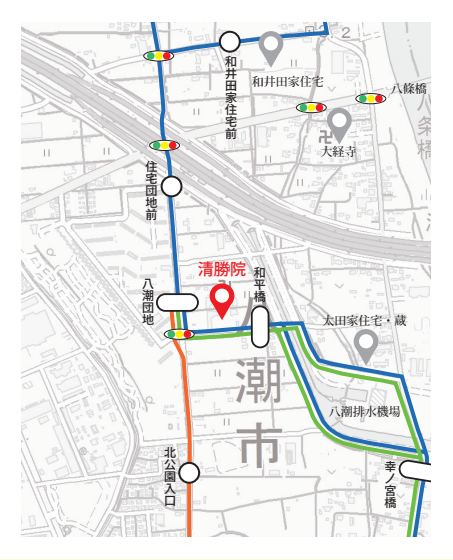
◎公開の有無：非公開

◎その他の文化財：

清勝院山門（常時公開）
絹本着色虚空蔵菩薩像（非公開）
絹本着色理趣会曼荼羅図（非公開）
紙本着色不動明王二童子像（非公開）

◎交通案内

・八潮市コミュニティバス北ルート「和平橋」下車すぐ
・草加駅東口または八潮駅北口からバス（八潮団地行）「八潮団地」下車徒歩２分



本図は電子地形図 25000（国土地理院）を加工して作成したものです。